

第37回日本中毒学会総会・学術集会 白熱ディベート

	YES＝Pro		NO＝Con		座長	
課題名	所属施設	氏名	所属施設	氏名	所属施設	氏名
CO中毒に高気圧酸素治療は必須である	諏訪赤十字病院	矢澤 和虎	山口大学先進救急医療センター	鶴田 良介	琉球大学	合志 清隆
急性中毒治療に血液浄化法は有効である	千里救命センター	吉永 雄一	大阪府立急性期総合医療センター	林 晃正	大津赤十字病院	松原 峰生
胃洗浄は服毒後3時間以内でないと意味が無い	さいたま赤十字病院	清田 和也	日本医大高度救命センター	宮内 雅人	国立大阪医療センター	定光 大海
有機リン中毒にPAMIは有効である	北野病院(大阪)	新谷 裕	米盛病院	富岡 譲二	武蔵野赤十字	須崎 紳一郎
自殺企図防止には精神科医の処方量減少が有効である	北里大学	上條 吉人	日赤和歌山医療センター精神科	東 睦広	和歌山県立医科大学精神科	篠崎 和弘
マムシ咬傷には抗毒素投与が必要である	熊本赤十字	野田 慶太	日赤和歌山医療センター	辻本 登志英	日本蛇族学術研究所	堺 淳
アセトアミノフェン中毒にはNAC投与が必須である	北里大学	福本 真理子	帝京大学	山本 敬洋	大阪大学	嶋津 岳士
覚醒剤中毒患者を診たときは警察に届ける	杏林大学	橋本 雄太郎	精神神経医療研究センター	松本 俊彦	前橋赤十字	中野 実
インスタントビューの方がトライエージよりも有用である	聖路加病院救急部	大谷 典生	日赤和歌山医療センター検査部	松岡 徳登	福島医科大学救急医学	伊関 憲